

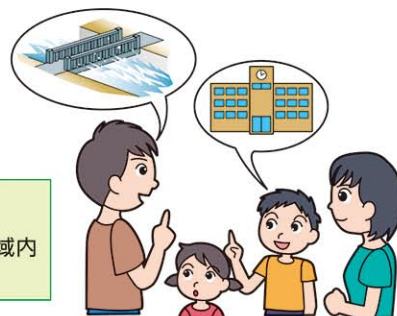


●避難所や避難経路を確認しましょう

この地図には、洪水時に避難する場所や集合場所が表示されています。普段から自分の地区の避難所や集合場所はどこのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

身近な場所の危険箇所を調べておく

自分の家や勤め先、学校などが浸水想定区域内にあるか、確認しておきましょう。



●普段から避難行動要支援者に気配りをしておきましょう

自分の家族や住みだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に一人暮らしの高齢者には気配りが必要です。普段から地域で水害時の避難所等確認を取り、話し合っておきましょう。

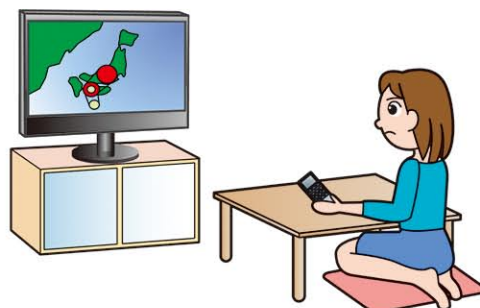
【避難行動要支援者】

高齢者・障がい者・病弱者・妊婦・乳幼児・外国人など災害発生時に的確な行動がとりにくく、支援が必要となる方



●天気予報や気象情報に気をつける

梅雨期や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ、ラジオ、新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。



●家庭備蓄と非常持ち出し品の準備をしておく

地震の備えを含め、普段から最低3日分の食料・水・簡易トイレ等の家庭備蓄品を準備しておきましょう。

また、懐中電灯・携帯ラジオなどを非常持ち出し袋(リュック等)に入れ、玄関等の持ち出しやすい場所へ用意しておきましょう。



●家のまわりを点検しておきましょう

家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは傷んでいないか確認しておきましょう。



●道路の側溝や雨水ますの点検をお願いします

雨水ますの取水口が落ち葉やごみで詰まると道路冠水の原因になります。普段から雨水ますの清掃にご協力ください。



●土のうや排水ポンプを準備しておきましょう

いざというときにあわてないために、事前に土のうや半地下構造のお宅では排水ポンプを準備しておきましょう。

また、水で膨らむ土のうなどは、いざというときに便利です。用意しておきましょう。

